



感染症週報



2026年(令和8年) 三宅管内感染症発生動向調査報告

第7週(2/9 ~ 2/15) 定点把握対象疾患について

三宅島 新型コロナウイルス感染症：1件
(COVID-19)

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 [東京都感染症週報 第6週]

警報レベル発報中

- ・インフルエンザの定点当たりの報告数は、39.39で前週(26.67)より増加しています。

島しょの情報(11島の医療機関からの報告) [第7週(2/9 ~ 2/15)]

- ・インフルエンザの医療機関あたりの報告数は、5.00で前週(5.00)から横ばいです。
- ・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.73で前週(1.18)より減少しました。

NEWS 2月22日は「ねこの日」ねこからヒトにうつることがある主な感染症のご紹介

パズツラ症

猫の口の中に普通に見られる細菌で、かまれることで感染する。

病気の症状・特徴: かまれた部位の腫れ痛み、その後、急速に皮下の炎症が深く広範囲に拡大し、蜂窩織炎になることがある。症状は1時間以内に出現する。

猫ひっかき病(バルトネラ症)

バルトネラ・ヘンセリ菌に感染した猫に、ひっかかれたり、かまれることで感染する。

病気の症状・特徴: 1週間前後で傷口が隆起・発熱し、周囲のリンパ節が痛みを伴って腫れるが、通常は自然に治癒する。猫に症状が出ることはまれ。

カブ/サイトファーガ感染症

猫の口の中に普通に見られる細菌で、ひっかかれたり、かまれることで感染する。傷口をなめられて感染することもある。

病気の症状・特徴: 潜伏期間は1~14日とされ、発熱、倦怠感、腹痛、吐き気、頭痛等がみられる。まれに重症化し、敗血症や髄膜炎を起こし、進行が早く死に至ることもある。

トキソプラズマ症

猫の糞の中のオーシスト(休眠卵)を直接もしくは間接的に経口摂取することで感染する。

病気の症状・特徴: 猫はトキソプラズマという寄生虫の終宿主で、糞にオーシストを排出する。妊婦の初感染では、死産や自然流産だけでなく、児に精神遅滞・視力障害・脳性麻痺など重篤な症状をもたらすことがある(先天性トキソプラズマ症)。



これらの感染症は、ほんの一部で「ねこ」をはじめ動物からうつる感染症は200種類以上あります。予防のためには、ペットなどの動物とは節度あるふれあい大切です。



参考: 動物由来感染症ハンドブック 2025(厚生労働省)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009

<https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

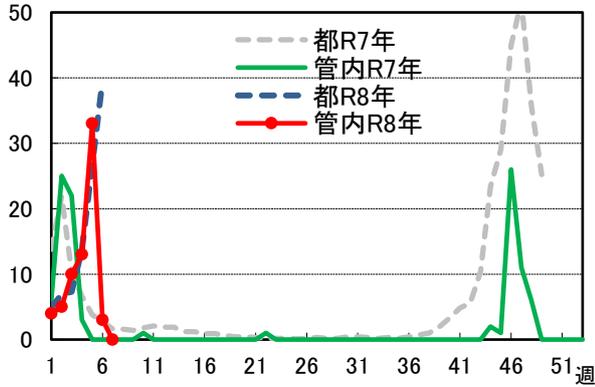
三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和8(2026)年						令和8 (2026)年 累計	東京都 定点あたり 6週
	2週	3週	4週	5週	6週	7週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.30
咽頭結膜熱							0 (0)	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	1.98
感染性胃腸炎					3 (3)		3 (3)	14.34
水痘							0 (0)	0.29
手足口病							0 (0)	0.03
伝染性紅斑							0 (0)	0.05
突発性発しん							0 (0)	0.16
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.01
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.03
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.02
不明発しん症							0 (0)	0.03
インフルエンザ	5 (0)	10 (0)	13 (0)	33 (0)	3 (0)		68 (0)	39.39
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	1 (1)	3 (3)				1 (0)	5 (4)	2.04

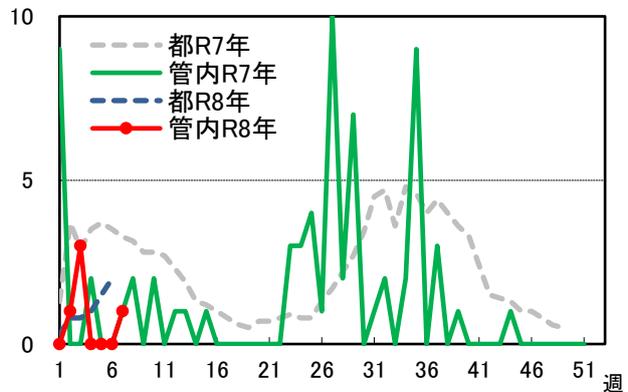
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅管内】患者報告数推移グラフ(管内とは三宅・御蔵両島の発生数計都は定点あたり発生数)

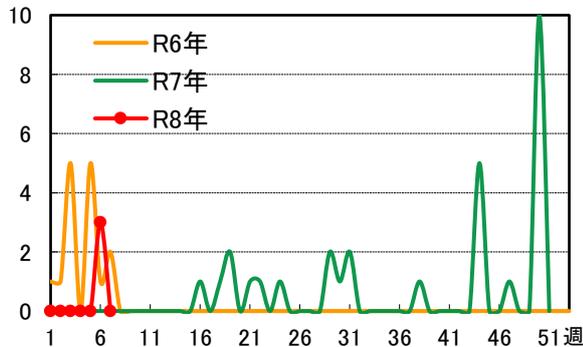
■ インフルエンザ



■ 新型コロナウイルス感染症



■ 感染性胃腸炎



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。